

図書館員のための HTML 学習のヒント

東京大学情報システム部 前田朗



1. 図書館員のための HTML 学習法

HTML は HyperText Markup Language の略であり、言語(Language)の一種であることを示している。言語には一般に単語と文法がある。HTML で考えてみると、単語に相当するのは<h1>などのタグであり、構文に相当するのはタグの記述ルールであろう。外国語の学習では単語や文法の習得に時間をかけたかもしれないが、HTML については、そう多く覚えなくとも、図書館業務でとりあえず使えるくらいのレベルにはなれる。

筆者は、図書館業務で HTML を使うこともあったが、実のところ本講習を引き受けるまで本腰を入れて学習してきた覚えがない。いわば断片だけの知識で、システム担当を含む図書館業務に対応できていたということである。そこで、大学図書館員でこれから HTML を学ぼうとする受講生に向けて、筆者の経験を踏まえ、省エネルギーで HTML を学習する方法を提示したい。

2. HTML のタグを覚えるには

HTML は多くのタグが用意されている。図書館業務の片手間でしか使わないのであれば、多くを覚えておくまでもない。この講習会実習で取り上げたような基本的なタグがあることだけ知っておき、あとは必要に応じてインターネットなどで調べることを薦めたい。また、タグは略語であるため、元の語とセットで理解すると覚えやすいかもしれない。

[HTML の略語を調べてみた]

3. 文法の基本 4 ルール

筆者は、HTML の文法で覚えるべきルールとして、以下に示す 4 つだけで事足りるのではないかと考えている。なお、これは筆者が自身の理解をまとめたものであり、HTML の公式ドキュメントに沿った説明ではないことは申し添えておく。

【ルール 1 : 値を開始タグと終了タグで括る】

```
<要素名>値</要素名>
```

ただし次のように終了タグを省略できるケースもある

値がない →
タグ、終了が推定できる → <p>タグ、タグ

【ルール 2 : 要素名は大文字でも小文字でもよい】

```
<h1>講習会 Web ページ</H1>
```

ただし、ATOM の「Linter-htmlhint」では小文字が推奨されてはいた。

【ルール 3 : 開始タグには属性を記載できる】

```
<要素名 属性名="属性値">値</要素名>
```

【ルール 4 : タグは入れ子にできる】

```
<要素名 1>  
  <要素名 2>  
  値  
  </要素名 2>  
</要素名 1>
```